

東京都糖尿病協会会報

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-15-7
キャッスル代々木203
(社)日本糖尿病協会東京都支部
(東京都糖尿病協会)
TEL・FAX 03-3373-0768
<http://www.dm-net.co.jp/>
tokyo-tounyou/
印刷・製本 あづま堂印刷(株)

創刊のことば

東京都糖尿病協会会長

菅原 正弘



東京都糖尿病協会は、日本糖尿病協会の東京都支部ですが、他の支部にない独自の活動を展開しています。都内の名勝を巡る歩く会、糖尿病週間行事としての講演会、医療相談会は設立当初から開催してきましたが、その後、2月の糖尿病市民セミナー、9月の糖尿病予防講演会が加わり、ブロック糖尿病教室を含め年間を通じ東京都全域で糖尿病の啓発活動を行っています。

これらの活動を通じ、糖尿病の正しい知識を持って頂くだけでなく、患者さん、ご家族に同じ病気をもらった多くの仲間と知り合う場が提供できると考えています。歩く会は一度参加されると、その後毎回参加されるようになるケースが多く、会員同士の親睦の場になっています。

3つの主要な講演会は抄録集を作成し、参加されなかった方にも内容を知って頂くことができますが、歩く会やブロック糖尿病教室は日程やプログラムしか残りません。青空教室も講演会とは一味違う味付けになっています。これらの、楽しく有意義なイベントを多くの会員や市民に知ってもらい、合わせて友の会同士の交流が一層深くなるよう、会報の創刊を提案させて頂きました。

相磯嘉孝編集委員長のもと、経験のある大越松司氏を中心に編集委員会が組織され、年2回の発行を目指します。都内125ある友の会も順に紹介していきます。

本年1月より、念願のホームページも開設されました。当会が開催するイベント

は詳細が決まりしだい掲載されていますので、是非一度ご覧ください。このホームページ中に会報も掲載され、毎号記録として残っていくことになります。

糖尿病協会にとって、正しい知識の普及、啓発ということも重要な活動テーマですが、糖尿病に関連した人たちのわ(輪、和、話)を広げることが、今後さらに必要になると思われます。

東糖協の今後の活動にご期待下さい。

魅力ある紙面をめざして

編集委員会より

4月24日の東糖協総会で、菅原正弘会長から、東京都糖尿病協会会報発行に関する基本的な方針が示されました。

私どもは、その意を受けて、会報の紙面構成(掲載内容)・様式等の検討を重ねてきました。そして、多くの方のご助言をもとに幾度も試行錯誤を繰り返した経緯の中で、本日、創刊号を発行することができました。

会報の掲載内容は東糖協の紹介と、東糖協関連行事及び活動の記録に重点を置き、それに患者さんとの交流・トピックスなどを加えることにしました。

東京都糖尿病協会主催する講演会は年3回ありますが、本年はそのほかに、(社)日本糖尿病協会年次集会も東京で開催され

ました。また東京都内各地では、ブロック糖尿病教室が年間13～15回行われています。さらに、歩く会・ウォークラリー(計5回)など、多彩な行事が目白押しで、全てを掲載することはできません。したがって、掲載行事の選択と、内容の要点化が避けられません。当面は12ページ、年間2回(9月・3月)発行することになりました。

以上の編集方針に基づき、創刊号には、「どんな内容を、どのような形で具現するか」考えました。そして2ページ目以降には糖尿病協会の紹介及び日糖協年次集会、患者さんの体験談と、ブロック糖尿病教室及び歩く会の報告等を掲載しました。行事の当日に参加できなかった方や、参加された方の再度のご参考になればと思います。編集委員会としては、この会報が皆様のお役に立ちますよう、引き続き「魅力ある紙面の実現をめざして」努力したいと考えます。

創刊号おもな内容

- 糖尿病患者さんの「輪」の拡大を願って
- 日本糖尿病協会年次集会
- 患者と主治医の二人三脚
- 第18回東糖協多摩ブロック糖尿病教室・第14回西東京糖尿病患者会連合講演会
- 信州・上田をめぐるバスの旅、春の歩く会
- 第14回中央ブロック糖尿病教室
- 城東ブロック糖尿病教室